

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-IV-4

4-IV-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	4 農家民泊の推進 ※修学旅行対応	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡地域振興局(企画振興部、農林水産振興部)、新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課
事業概要	【事業目的】 ○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、主に修学旅行向けの農家民泊の推進を図る。 【事業内容】 ○ 本土側の関係機関と連携を図りながら、小中学校や旅行代理店等にピーク時における島内の受入可能な農家民泊に関する情報提供を行う。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 修学旅行シーズンに農家民泊が稼働している状態で、学校やAGTの要望に応じて紹介ができる。		
これまでの取組実績	○ 佐渡観光交流機構と連携し、農家民泊受入を行った。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 修学旅行のセールスの際に、農家民泊の情報を提供し利用に繋げる。 【R6年度実績】 ● 修学旅行のセールスを行い、学校や旅行会社に農家民泊の情報を提供した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ <u>B</u> ・ C] ◇ 概ね計画通りにAGTに向けた農家民泊のセールスができた。		
課題	■ コロナ過が明けて全国の修学旅行ニーズが変わっており、農家民泊などの新たな需要、スタイルに応じた商品設定を行わなくてはならない。 - また、高齢化による受入先の減少しているため、受入体制の再構築が必要である。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。